



Tomato+Health®

TOMATO+HEALTH ニュースワイヤー
レポート 3 - 2007年10月15日号

ただのトマトが心臓発作を予防

Tomato+Health ニュースワイヤー Tamsin Rockwell著
Tamsin@tomatoandhealth.com

トマトは、欧州で2番目に大きい農業分野であり、生および特に加工食品の市場において世界有数の食品分野に属しています。5年間に520万ユーロのEUの公的資金を受けて推進中の新規調査プロジェクト、LYCOCARDは、心臓疾患の予防や治療に有効と考えられているリコピン、およびトマトやトマト加工食品に含まれるその他の強力な栄養素が健康に及ぼす利点を正確に判明させることを目的としています。

今年1月に発表された科学参考書「*Tomatoes, Lycopene & Human Health* (トマト、リコピン&人間の健康)」のある章では、当分野での過去から現在までの科学的な研究結果に注目しています。

フィンランドのクオピオ大学公共医療研究所勤務のTiina Rissanen博士は、European Study of Antioxidants, Myocardial Infarction and Cancer of the Breast (EURAMIC=抗酸化剤、心筋梗塞、乳がん欧州研究所)の共同研究で、具体的な結果を見出しました。当プロジェクトは、抗酸化剤の脂肪組織での含有率と心筋梗塞の発生率との関連性を10カ国で調査したものです。

「調査によると、リコピンが脂肪組織でもっとも高い含有率を見せる男性は、リコピンの含有率の低い男性と比較すると、心臓疾患を引き起こす危険率が48%も低いという結果がでています。マラガの研究所における同EURAMIC調査の一部では、心筋梗塞(心臓発作)の危険率が60%も低いという数値が出ています。」

極めてポジティブに見える当調査結果に対し、その他数例の研究結果はそう確証的なものではなく、十分な資金を投入した集約的研究が急がれています。これをもとに、かつてまったく注目されることのなかったただのトマトが、人々の中でスーパー食品と姿を変えてしまった正確な理由と本質を、LYCOCARDが証明してくれることを期待しましょう。